



虹だより



令和5年度 虹のこころ保育園

春風が心地よい季節となってきました。

子どもたちは日に日に成長し、私たちを楽しませてくれています。来月にはまたひとつ大きいクラスになり、知らず知らずのうちに親の手を離れていくのですね。

新年度も元気に広い園庭を走り回り、健康な心と体を育んでいきたいと思っています。



髪ゴム

当保育園では飾りの付いた髪ゴムはご遠慮いただいています。

飾りが取れて落ちてしまうと小さな子が口に入れる恐れがあること、無くしてしまったときに子どもが気落ちしてしまうこと、保育士が探してさしあげる時間がない場合がある事等のためです。我慢しているお子さんもいますので、今一度、園のしおりをお読みになり、皆さんが気持ちよく通園できることを願っています。



進級する全てのご家庭へ

「登園・降園時刻及び月極等利用承諾書」を3月下旬に配布しますので、ご確認ください。



子どもの心に悪影響

勧告書でも問題になっているのは、こどもたちの脳の発育への影響である。驚くべきことに、この勧告書は、注意欠如・多動症(ADHD)などの先天的な障害とされてきたものが、デジタルメディアやSNSの使用で後天的に生じる可能性にまで触れている。

人間の脳には可塑性があり、生まれてから触れた環境に適応していく。生まれた時から電子端末に常時触れている世代は、これまでとは違う脳になる可能性がある。スマホやゲームなどの電子メディアの依存症は、子どもを持つ親ならば経験的によく知っているだろう。実際、快楽物質ドーパミンの分泌を促進し、ハマらせるように電子端末やSNSはデザインされている。過度の依存は、理性的な思考や感情のコントロールなどで重要な機能を果たす脳の前頭前野の発達を阻害すると言われている。その結果として、学力低下による国力や経済の低迷、民主主義の危機も引き起こされかねない。

分からないことが多いので、エビデンスに基づいた研究や議論を進めて行く必要はある。だが、巨大なIT企業の利益のために、子どもたちの健康や幸福、そして未来などが犠牲にされている可能性については、真剣に検討し、早めに手を打つべきである。

令和6年2月17日朝日新聞夕刊件

藤田直哉のネット方面「見聞録」より一部抜粋
※子どもの性質さえ左右してしまうSNS。興味のある方は深堀してみてください。

3月予定

- 1日(金) ひなまつり会
- 14日(木) 誕生日会
- 15日(金) 卒園式
- 22日(金) 避難訓練
- 30日(土) 弁当持参

体操教室… 1、8、22、29日
英語教室… 5日
音楽… 5、12、19日
フラダンス… 7日

家庭保育ご協力をお願い

年度末27、28、29日は新年度の最終準備のため、家庭保育が可能なご家庭は家庭保育のご協力をお願いします。

今年度も当保育園へのご理解、ご協力をしていただき、ありがとうございました。

